

スタッフの

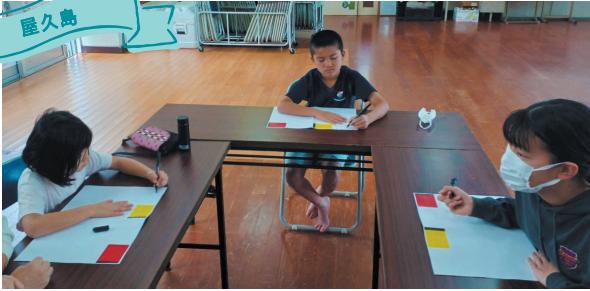
ワクワク計画 第一弾

宇治野の 島めぐりの旅



屋久島と興居島へ 2023.3/4月 備忘録

屋久島



興居島の障子貼り

「ワクワク計画」屋久島と興居島

皆さんこんにちは。コツコツコミュニティの宇治野です。西建設は今年度、スタッフのワクワク計画を実行しております。今回は私が3月に屋久島、4月に松山にある興居島(ごごしま)に行き、そこで、体験・感じたお話を皆様にお伝えいたします♥

私は、日頃、住まいについて自分自身のあり方や私達を取りまく環境などについて参加していただいた方々と話をしたり、学んだり、気づきの場づくりを「住育学校かごしま校」と題して開いています。それを踏まえて屋久島へ渡ってきました。

「屋久島へ

屋久島は皆さんもよくご存じですね。令和5年5月1日時点で人口が約11,663人、面積は541km²。世界遺産の島で、縄文杉やウィルソン株といった観光スポットがあります。残念ながら、今回の巡りの旅ではいずれも訪ねることはできませんでしたが、屋久島に足を付いたその時から、海の青色と連なる山々の緑、どこまでも続くスカイブルーの空。これらに魅了されました。海岸線では、打ち寄せる白波の勢いに圧倒され、鹿児島市内では見れない、体験することのない感覚を覚えました。

ここに暮らす子ども達と一緒に「屋久島の魅力や、これからの屋久島」について考え、子ども達には「今の屋久島」がどのように写っているのかということを知りたくて、屋久島の地域おこし協力隊員、池田恵さんのご協力いただき、住教育カードゲームを使用し、子ども達に問いかけてみました。



2時間かけて屋久島へ



その時の実際の問いとお子さんの回答がこちら

Q1 あなたの住んでいる町の自慢の場所はどこ？

- A1 学校
- A2 海

Q2 近くにあったらいいなと思う施設は？

- A1 公園①
- A2 コンビニ
- A3 みんなが幸せになれる会社②

「みんなが幸せになれる会社!？」

Q1-A1の回答してくれたお子さんに「学校が好き?」と聞くと、「学校が大好き。だって、プールもあるしアスレチックもあるんだもん。」と照れくさそうに話してくれました。また、「海が本当にきれいだから、海に行くのが好き。」と答えてくれる子もいました。自分の住む町の、好きなところを自慢げに話す姿を屋久島町の町長さんにも見ていただきたくらいでした。「この子たちの為に今私たちができることをしっかりやり遂げましょう!!」と握手をして町長に熱弁したくなりました。

Q2「近くにあったらいいなと思う施設は?」の問いで「公園」と回答があったので質問してみたら、「屋久島には公園が本当はない」ということでした。滑り台や、ブランコ、鉄棒に砂場。これらがそろった公園は鹿児島県内ではよくみる風景ですが、屋久島にその風景はなかったんです。びっくりでした。さらにびっくりしたのは、A3の「みんなが幸せになれる会社」の回答でした。

実現するには難しい事だと、私は正直その時思いましたが、答えてくれたお子さんに確認してみました。

「なぜ、そう思ったかおしえてくれるかな?」お子さんは「屋久島に会社があれば、仕事する人が来るし、住んでいる人も働く場所が増えるから。そしたら、みんなが幸せになれるから」

(裏面に続く)▶

子供たちの回答の一部



と話してくれました。この時、私が西建設で働いていることを考えました。西建設の理念は「お客様の喜ぶ顔をイメージして動く」です。この理念のもと、このワクワク企画もあります。自分の体験・感じたことをお客様にお伝えし、一緒に考えていただき、分かち合えたら♡という思いであります。「こんなことする会社、他にあるかな?」と思いました。

10歳のお子さんの考えに、改めて考えさせられる回答でした。住教育カードゲームを通じて、お子さんの考えに触れることができた貴重な体験でした。

屋久島でもう一つ、貴重な体験もしました。夜、7時半頃屋久島の主幹道路を走っていたら、左前方になんと、野生のシカが道路を横断するかどうするか立ち止まって考えているようでした。立派な角もあり、一瞬でヒヤッとしました。

野生動物と人が共存していること、すぐそこに野生動物が存在していること、暮らしがあるのは、人だけではないこと、ここでも考えさせられました。自然を肌で感じる体験でした。屋久島での体験は、今後の活動の基盤となることでしょう。

興居島へ

屋久島から1ヶ月後の4月に訪れた、松山市興居島(ごごしま)での話を紹介します。



興居島は、愛媛県松山市の沖合いに所在する忽那諸島にある島。瀬戸内海に浮かぶ有人指定離島です。人口は、令和2年時点で913人、島の大きさは周囲が約30kmと、かなり小さめ。車であれば一周するのに1時間かからないくらいの規模の島です。今回、興居島では障子紙の張替えワークショップに参加してきました。

「え!?」ってなりましたか?ですよね。遠く離れた鹿児島から1日1便しか、しかも夜間の発着の飛行機便しかない松山までいって、障子の張替え!?に参加。どんだけ物好きなのか、あはは。」

なぜ、松山まで出向いたかという、空き家を自ら購入し再生されている、大塚仁美さんとの接点があり、大塚さんが取り組まれている空き家再生、利活用について話をしているときに、「一度私もこの目で興居島を見に行きたい!私も大塚さんがされている空



霧吹きをかけて古い障子紙を丁寧に剥がしていきます

障子の紙をみんなで慎重に貼っていきます



き家再生のお手伝いがしたい!」と思い、障子の張替えに行ったんです(笑)。

このワークショップに参加された方に、参加した経緯を聞いてみたところ、お一人の方は、嫁ぎ先のご主人の実家にお父様がお一人暮らしで、「障子の張替えをしないといけないうだけけど…」と困っていたそうです。そこに、今回のワークショップの話をきいて、「ワークショップで自らが学び、お義父さんに喜んでもらえたら!」という思いでの参加だったそうです。松山に来てよかった!!と思いました。

もう一人の方は、今実際に自分自身が空き家再生を行っていて、自分で実践するために参加したとおっしゃっていました。空き家再生をコツコツと実践されている方に出会えたことが、「私もやるぞ!!」と気合をいただきました。

興居島は海に囲まれているので、360度周りを見渡すと海でした。山は、段々畑に整地された面に、みかんなどの柑橘類の木がオレンジ色の実をつけて、海の青、山の緑、柑橘類のオレンジ色が、今でも鮮明に浮かび上がる程、美しかったです。あと、松山で食べた鯛めしも「明日からも頑張るぞ!!」と鋭気を養いました。

人が動けば、物事も動き出す

屋久島と興居島、二つの島で私が得たものは、形に見えるものではありませんが、私自身を振り返り、今後のように活動していくか気づきと、人が動くことで物事が流動し、活性していくんだと実感しました。また、「人と人の縁を深く感じた感謝の旅」となりました。

このご縁を今後もつなげていけるように、私自身も、コツコツと積み重ねていこうと思っています!!

コツコツコミュニティ 宇治野でした。



西建設は、空き家についてのご相談も受け付けております。

まずは、お気軽にご連絡をください。

例えば...

あなたの周りの方に
西ちゃんのイイネ!を
ぜひお伝えください。

ご親族・お勤め先・お友達
ご両親 同僚 学生時代
兄弟 先輩後輩 地域
親戚 取引先 サークル

ご相談
お見積
無料

あの相談しやすさNo.1の
住まいる西ちゃんに
ご紹介ください!



お待ちしております!

住まいる西ちゃんの

西建設



鹿児島市紫原6-34-10

099-255-5315

窓口受付10:00-15:00 月~金

西建設HP



住まいのお役立ち情報 放送中!

住まいるにしちゃん
教えて!リフォーム



毎2水曜日
12:10スタート
エフエム鹿児島
に放送中!

FM 79.8MHz